

単元名

# 日本の地域的特色と地域区分

## 1 単元のねらい

①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信の 4 つの項目について, 分布や地域などにかかわる視点で課題を追究したり, 解決したりする活動を通して, 日本の国土の特色を理解し, それぞれの地域区分の地域の共通点や差異, 分布などに着目し, それらに関連付けて多面的・多角的に考察, 表現することができる。

## 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
--	-------	----------	-------------------

単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取り組みなどを基に，日本の自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>・少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解している。</li> <li>・日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>・自然環境，人口，資源・エネルギーと産業，交通・通信に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境，人口，資源・エネルギーと産業，交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。</li> <li>・日本の地域的特色を，自然環境，人口，資源・エネルギーと産業，交通・通信に基づく地域区分などに着目して，それらに関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地域的特色と地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>
---------	---	---	---

●学習改善につながる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 まとめ
知識・技能	●	●	●		●	●○	●	●		○	○

思考・判断・表現		●		○●		○		●	○	○
主体的に学習に取り組む態度	●									○

### 3 単元構造図（全11時間） ☆獲得する認識

<b>単元名</b> 日本の地域的特色と地域区分	<b>単元学習前の生徒の認識</b> 第1章や小学校までの学習の中で日本の一部分についての学習はしてきた。しかし、日本全体を大観したり、地域同士のつながりという点については学んでいない。
-----------------------------	--

第1時 日本がどのような国かイメージしよう【●主体的に学習に取り組む態度 ●知識・技能】

日本はどのような国なのか考えよう。

これまで自分が学んできて日本をイメージしたときに考えることは日本の一部だけのことであったことが分かった。それぞれの地域によるちがいや共通点が日本全体についてみていくことで分かるのではない。

日本にはどのような地域的特色があるのだろう。

第2時 地形から見た日本の特色①【●知・技 ●思・判・表】

日本の地形にはどのような特色があり、地域によってどのような違いがあるのだろうか。

☆変動帯 ☆浸食 ☆日本アルプス

☆フネツツサツグナニ ☆活断層

日本は変動帯に位置し火山、地震などの大地の活動が活発であることが分かった。また、陸地の約4分の3が山地と丘陵地である。川は傾斜が急で流域面積が狭い。

第3時 地形から見た日本の特色②【●知・技】

日本の地形にはどのような特色があり、地域によってどのような違いがあるのだろうか。

☆平野・盆地 ☆扇状地・三角州・台地

☆岩石海岸・砂浜海岸・リアス海岸 ☆砂丘

日本には平野や盆地がありそれぞれに合った土地利用がされている。海岸にもさまざまな種類があり、近海には海溝、大陸棚があり、様々な海流が流れている。

第4時 気候から見た日本の特色【○●思・判・表】

なぜ日本各地の雨温図にここまで大きな違いがあるのだろうか。

☆地中海性気候 ☆西岸海洋性気候 ☆季節風

☆梅雨 ☆台風

緯度、経度の違いや日本に吹き込む季節風と日本にそびえたつ山地が影響してそれぞれの地域で気温や降水量に違いがあることが分かった。

第5時 自然災害と減災・防災への取り組み【●知・技】

日本にはどのような自然災害が起こり、どのような防災の取り組みが行われているのだろうか。

☆冷害 ☆液状化 ☆津波 ☆高潮 ☆減災

☆防災マップ

日本では様々な災害に対して国、都道府県、市町村、各関係機関が連携をとって対応している。しかし対策だけでは防げないため、防災・減災に対する住民の意識が

第6時 人口から見た日本の特色【○●知・技 ○思・判・表】

日本の人口の分布や構成にはどのような特色があり、どのように変化しているのだろうか。

☆少子高齢化 ☆人口ピラミッド ☆人口密度

☆三大都市圏 ☆地方中枢都市 ☆過密・過疎

☆政令指定都市 ☆ドーナツ化現象 ☆再開発

日本では少子高齢化が進んでいる。また三大都市圏が形成されたことにより、都市、地方それぞれで様々な問題が起きていることが分かった。

第7時 資源・エネルギーから見た日本の特色【●知・技】

日本に必要な資源やエネルギーは、どのように確保されているのだろうか。

☆鉱産資源 ☆エネルギー自給率 ☆水力発電

☆火力発電 ☆地球温暖化 ☆原子力発電

☆再生可能エネルギー

日本は資源やエネルギーの確保を海外からの輸入に頼っていることが分かった。そんな中でも限りある資源を有効に使うため、環境に配慮した活動も行われている。

第8時 産業から見た日本の特色【●知・技】

日本の産業にはどのような特色があり、どのように変化しているのだろうか。

☆食料自給率 ☆太平洋ベルト ☆加工貿易 ☆ICT

第一次産業人口の減少に伴い日本の食料自給率が低下している。第二次産業は高度経済成長期に著しく発展したが現在では産業の空洞化など問題が起きている。第三次産業の仕事をする人が全体の7割を占めている。

第9時 交通・通信から見た日本の特色【●思・判・表】

日本にはどのような交通・通信網が発達し、どのような結びつきがあるのだろうか。

☆高速交通網 ☆情報通信網

日本では新幹線、高速道路、航空網が日本各地に整備され、各地の移動時間が大幅に短縮された。また情

第10時 日本を地域区分しよう

【○知・技 ○思・判・表】

日本は地域的特色によってどのように地域区分できるのだろうか。

第11時 単元のまとめ

【○思・判・表 ○態度】

日本の地域的特色について様々な視点からまとめよう。

それぞれの視点で地域区分した地図を比較することで、地域区分が明らかになり、地域的な特色同士の関係を見出すことができることが分かった。

**単元学習後の生徒の認識**

この単元の学習前は、日本の切り取った一部分について知っているだけだったが、学習を行うことで日本全体の地域的特色について大観し、それぞれの地域的特色や地域区分を比較するなど関連付けて考えることができるようになった。

時	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 日本がどのような国かイメージしよう	日本がどのような国なのかを考える活動を通して、日本には様々な地域的特色があることに気づき、様々な地域的特色がある理由を予想することで、これからの学習の見通しをもって主体的に取り組もうとすることができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本について持っているイメージを交流する。 <b>日本はどのような国なのか考えよう</b></li> <li>2 「日本はどのような特色を持った国ですか？」と聞かれたときに何と答えるか考える。</li> <li>3 考えた答えを交流し、日本には様々な地域的特色があることに気づき、単元を貫く課題を設定する。 《単元を貫く課題》 <b>日本にはどのような地域的特色があるのだろう。</b></li> <li>4 単元を貫く課題に対する予想をたてる。</li> <li>5 本時のまとめをする。</li> </ol>	日本にはさまざまな特色があることを理解している。 日本の地域的特色に関しての単元を貫く課題に対する答えを予測し、見通しをもって主体的に追究しようとしている。	◇日本各地の写真 ウェビングマップを用いて日本に対するイメージを広げることで様々な地域的特色があることにつなげる。
これまで自分が学んできて日本をイメージしたときに考えることは、日本の一部だけのことであることが分かった。それぞれの地域によるちがいが共通点が日本全体についてみていくことで分かるのではないかな。				
2 地形から見た日本の特色①	資料の読み取りを通して、日本の地形の特色をつかみ、山、川、海の特徴を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ☆変動帯 ☆浸食 ☆日本アルプス ☆フォッサマグナ ☆流域面積	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書の写真を見せて日本の地形のイメージについて交流する。 <b>日本の地形にはどのような特色があり、地域によってどのような違いがあるのだろう。</b></li> <li>2 資料から事実を読み取り、交流する。 ・日本は変動帯に位置するため火山の活動や地震がよく起きる。 ・陸地の約4分の3が山地と丘陵地である。 ・日本列島の川は傾斜が急で流域面積が狭い特徴がある。</li> <li>3 本時のまとめをする。</li> </ol>	日本の自然環境に関する特色を主題図や分布図から適切に読み取り、日本の山地・山脈、川の特徴について理解している。 日本の地形に関する地域的特色を、関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	◇険しい飛騨山脈の山々 ◇山脈や火山の分布 ◇地震の震源と火山の分布 ◇日本と世界の川の比較 山と川の地形の特色を関連付けて考えられるようにする。
日本は変動帯に位置し火山、地震などの大地の活動が活発であることが分かった。また、陸地の約4分の3が山地と丘陵地である。川は傾斜が急で流域面積が狭い。				
3 地形から見た日本の特色②	資料を読み取る活動を通して、日本の地形に関する特色について理解している。 ☆平野・盆地 ☆扇状地・三角州・台地 ☆岩石海岸・砂浜海岸・リアス海岸 ☆砂丘 ☆海溝 ☆大陸棚 ☆親潮・黒潮 ☆潮境	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本各地の特色ある地形の写真から様々な地形についてイメージをもつ。 <b>日本の地形にはどのような特色があり、地域によってどのような違いがあるのだろう。</b></li> <li>2 資料から事実を読み取り、交流する。 ・平野や盆地という地形がある。 ・平野や盆地の中には扇状地、三角州、台地といった地形もある。 ・地形それぞれに合った土地利用がされている。 ・海岸にもさまざまな種類がある。 ・近海には海溝、大陸棚があり、様々な海流が流れている。</li> <li>3 本時のまとめをする。</li> </ol>	日本の自然環境に関する特色を主題図や分布図から適切に読み取り、日本の平地、海岸の分布や特色、海洋に囲まれた国土の特色について理解している。	◇扇状地 ◇三角州 ◇日本の主な川と平野、盆地 ◇日本の地形の模式図 ◇リアス海岸 ◇日本列島周辺の海底地形と断面それぞれの地形とその土地の地形図をつなげて考えることができるようにする。
日本には平野や盆地があり、それぞれに合った土地利用がされている。海岸にもさまざまな種類があり、近海には海溝、大陸棚があり、様々な海流が流れている。				
4 気候から見た日本の特色	雨温図を読み取る活動を通して、日本各地の気候の違いに気づき、その理由について山地や山脈の分布等に注目して説明することができる。 ☆地中海性気候 ☆西岸海洋性気候 ☆季節風 ☆梅雨 ☆台風	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書の写真から同じ時期でも日本の各地でそれぞれ気候について違いがあることを確認する。 <b>なぜ日本各地の雨温図は、ここまで大きな違いがあるのだろう。</b></li> <li>2 資料から事実を読み取り、交流する。 ・高松では年中降水量が少ない。 ・金沢では冬に降水量が多い。</li> <li>3 日本各地で気候に違いがある理由について考える。 ・季節風と日本の地形的な特色の山地や山脈が影響してそこを境に気候が違っている。</li> <li>4 本時のまとめをする。</li> </ol>	日本が6つの気候帯に大きく区分できる理由について日本の山地・山脈の分布や細長い地形などに着目して多面的に考察している。	◇1月の金沢市・北海道・静岡市、2月の沖縄県 ◇日本各地の雨温図 ◇夏と冬の降水量の季節変化

		緯度、経度の違いや日本に吹き込む季節風と日本にそびえたつ山地が影響してそれぞれの地域で気温や降水量に違いがあることが分かった。		
5 自然災害と減災・防災への取り組み	日本に起こる多様な自然災害や災害に対する取り組みについて調べる活動を通して、国や地方公共団体の諸機関や担当部局、地域の人々やボランティアが連携して人々の生命や安全の確保のために活動していることを読み取り、日本の防災対策について理解することができる。 ★冷害 ★液状化 ★津波 ★高潮 ★減災 ★防災マップ	1 知っている自然災害について交流する。 日本にはどのような自然災害が起こり、どのような防災の取り組みが行われているのだろうか。 2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・地震、火山災害と気象災害が日本では起きる。 ・自然災害が発生した際にはライフラインの復旧のために国が都道府県や市区町村と協力して対応に当たる。 ・自然災害に備えて防災対策が行われている。 3 本時のまとめをする。	資料から日本の多様な自然災害と防災への取り組みなどに着目し、日本では自然災害が発生しやすい地域が多いため、防災・減災対策に努めていることを理解している。 さまざまな人々が連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを理解している。	◇日本各地の自然災害の写真 ◇災害時の公的機関の活動と支援の動き 自然災害への対策と事前の防災の備えの両方から日本では災害に対して取り組んでいることを確認する。
		日本では様々な災害に対して国、都道府県、市町村、各関係機関が連携をとって対応している。しかし対策だけでは防げないため、防災・減災に対する住民の意識が大切であることが分かった。		
6 人口から見た日本の特色	日本の人口の分布や構成について資料を読み取る活動を通して少子高齢化、過疎、過密といった日本の課題に気づき、その課題に対して多面的・多角的に考えることができる。 ★少子高齢化 ★人口ピラミッド ★人口密度 ★三大都市圏 ★地方中枢都市 ★過密・過疎 ★政令指定都市 ★ドーナツ化現象 ★再開発 ★都心回帰	1 日本ではどのあたりに人口が集まっているのか交流する。 日本の人口の分布や構成にはどのような特色があり、どのように変化しているのだろうか。 2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・日本の人口は富士山型、つりがね型、つぼ型と変化してきている。 ・日本の人口の半分以上が三大都市圏に集中している。 ・日本では少子高齢化が進んできている。 3 日本の人口の分布や構成についてどんな課題点があるのか考え、交流する。 4 本時のまとめをする。	人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの資料から少子高齢化の実態を、国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り、日本の人口に関する問題を理解している。 過疎、過密地域が抱える課題について、多面的・多角的に考察している。	◇日本の人口密度 ◇日本の人口の移り変わり ◇三大都市圏への人口集中 ◇日本の人口ピラミッドの変化
		日本では少子高齢化が進んでいる。また三大都市圏が形成されたことにより、都市、地方それぞれで様々な問題が起きていることが分かった。		
7 資源・エネルギーから見た日本の特色	資料を読み取る活動を通して、日本の資源・エネルギー利用の現状や課題について多面的・多角的に理解することができる。 ★鉱産資源 ★エネルギー自給率 ★水力発電 ★火力発電 ★地球温暖化 ★原子力発電 ★再生可能エネルギー	1 主な国のエネルギー自給率の資料を確認する。 日本に必要な資源やエネルギーは、どのように確保されているのだろうか。 2 資料から事実を読み取り、意見を交流する。 ・日本はほとんどの資源を輸入に頼っている。 ・日本は主に火力発電で電気を確保している。 ・再生可能エネルギーを利用する取り組みが進められている。 3 本時のまとめをする。	日本の資源・エネルギー利用の現状や課題について多面的・多角的に理解している。	◇主な国のエネルギー自給率 ◇日本の主な鉱産資源の輸入相手国 ◇世界の主な国の発電量の内訳 ◇日本の主な発電所の分布
		日本は資源やエネルギーの確保を海外からの輸入に頼っていることが分かった。そんな中でも限りある資源を有効に使うための環境に配慮した活動も行われている。		
8 産業から見た日本の特色	日本の産業の特色について調べる活動を通して、日本の農業や工業が抱える課題について理解し、第三次産業が盛んな地域について、その背景を考察することができる。 ★食料自給率 ★太平洋ベルト ★加工貿易 ★ICT ★産業の空洞化 ★第一・二・三次産業	1 身近な「〇〇業」について交流し、第一・二・三次産業を確認する。 日本の産業にはどのような特色があり、どのように変化しているのだろうか。 2 それぞれの産業の現状や課題について資料から読み取り交流する。 ・品質を高めて外国産の食料品に対抗している。 ・産業の空洞化が起きている。 ・第三次産業の企業などは三大都市圏に集中している。 3 本時のまとめをする。	日本の産業の特色や課題点について多面的・多角的に理解している。	◇日本の主な工業地帯・地域 ◇日本の自動車メーカーの生産台数の変化 ◇第三次産業就業者数の県別割合
		第一次産業人口の減少に伴い日本の食料自給率が低下している。第二次産業は高度経済成長期に著しく発展したが現在では産業の空洞化など問題が起きている。第三次産業の仕事をする人が全体の7割を占めている。		

9 交通・通信から見た日本の特色	<p>日本の輸送手段の違いがみられる原因について、輸送距離、時間、地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。</p> <p>☆高速交通網 ☆情報通信網</p>	<p>1 写真に写っている交通網について交流する。</p> <p>日本にはどのような交通・通信網が発達し、どのような結びつきがあるのだろう。</p> <p>2 資料から日本の輸送手段の違いを読み取り、その理由について考え、交流する。</p> <p>・距離が遠くなるにつれて航空機の割合が高くなっている。 ・高速道路の整備によって自動車での貨物輸送の割合が高くなってきている。</p> <p>3 本時のまとめをする</p>	<p>日本の交通や通信網の発達について理解し、輸送手段の違いがみられる原因について多面的・多角的に考察している。</p>	<p>◇様々な交通手段がみられる東京 ◇移動におけるJR線と航空機の利用の割合 ◇国内の貨物輸送の変化 ◇日本の高速交通網</p>
<p>日本では新幹線、高速道路、航空網が日本各地に整備され、各地の移動時間が大幅に短縮された。また情報通信網も広がってきている。</p>				
10 日本を地域区分しよう	<p>日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分の事例を学び、それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>	<p>1 スキルアップを取り組む</p> <p>日本は地域的特色によってどのように地域区分できるのだろう。</p> <p>2 地域を区分する視点について確認する</p> <p>3 8つの資料を読み取り、資料同士を関連付けて考察する。</p>	<p>それぞれの地域区分を地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>◇日本の標高 ◇最深積雪量 ◇都道府県別の平均年齢 ◇都道府県別の合計特殊出生率 ◇第一次産業就業者数の割合 ◇一人当たりのバイオマス発電量 ◇東京との鉄道での移動時間 ◇東京都への移動手段</p>
<p>それぞれの視点で地域区分した地図を比較することで、地域区分が明らかになり、地域的な特色同士の関係を見出すことができることが分かった。</p>				
11 単元のまとめ	<p>これまでの学習を振り返り、日本の地域的特色について様々な視点からまとめ、それらを関連付けて多面的・多角的に考察・表現し、日本の地域的特色と地域区分について自分たちの生活に関わらせている。</p>	<p>単元のまとめをする。</p> <p>日本の地域的特色について様々な視点からまとめよう。</p> <p>1 日本の地域的特色について図にまとめて振り返る。 2 単元を貫く課題に対して自分の考えをまとめる。</p>	<p>日本の国土の特色を、図にまとめて振り返り、日本の地域的特色を理解している。</p> <p>それぞれの地域的特色を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>単元の課題に対する自分なりの考えをまとめ、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>この単元の学習前は、日本の切り取った一部分について知っているだけだったが、学習を行うことで日本全体の地域的特色について大観し、それぞれの地域的特色や地域区分を比較するなど関連付けて考えることができたようになった。</p>